

様式第2号(第7条関係)

会議の開催結果

1 会議の名称	令和5年度第1回さいたま市史編さん審議会
2 会議の開催日時	令和5年7月28日(金) 午後3時00分～午後4時30分
3 会議の開催場所	さいたま市北区日進町2-1864-10 J S日進3階 304会議室
4 出席者名	老川 慶喜会長、重田 正夫委員、青木 義脩委員、 栗田 尚弥委員、秋元 千代子委員、山崎 憲人委員、 黒金 英明委員、関根 正昌委員、鈴木 英善委員、 藤川 奈美子委員 他 事務局職員
5 欠席者名	—
6 議題及び公開又は非公開の別	(議題) (1) 次期(第4期)さいたま市史編さん事業計画の策定について (公開又は非公開の別) 公開
7 非公開の理由	
8 傍聴者の数	0人
9 審議した内容	(1) 次期(第4期)さいたま市史編さん事業計画の策定について (2) その他(次回の審議会開催日程について等)
10 問合せ先	総務局総務部アーカイブズセンター 電話番号 048-871-5821 F A X 048-871-5829
11 その他	

令和5年度第1回さいたま市史編さん審議会 次 第

日時：令和5年7月28日（金）15時～

場所：アーカイブズセンター会議室

1 開 会

2 報 告

- (1) 令和4年度事業報告について
- (2) さいたま市史編さん専門委員の更新について
- (3) 各部会の活動状況について

3 議 題

- (1) 次期（第4期）さいたま市史編さん事業計画の策定について

4 その他（事務連絡）

5 閉 会

さいたま市史編さん審議会委員名簿

(区分順、50音順)

	氏名（敬称略）	所属・職等	区分
1	青木 義脩	さいたま市遺跡調査会理事	学識経験者
2	秋元 千代子	元さいたま市立学校長	学識経験者
3	老川 慶喜	立教大学名誉教授	学識経験者
4	栗田 尚弥	國學院大学講師	学識経験者
5	重田 正夫	さいたま市文化財保護審議会委員	学識経験者
6	山崎 憲人	元さいたま市立博物館長	学識経験者
7	黒金 英明	さいたま商工会議所理事・事務局長	関係団体代表者
8	関根 正昌	株式会社埼玉新聞社代表取締役社長	関係団体代表者
9	鈴木 英善	市民公募委員	市民公募
10	藤川 奈美子	埼玉県立文書館公文書・地図センター担当部長	関係行政機関職員

令和 4 年度事業報告について

1 審議会の運営

- (1) 第 1 回（5 月 2 5 日）
 - ・令和 3 年度事業報告について
 - ・さいたま市史編さん専門委員の更新について
 - ・各専門部会の活動状況について
 - ・市史の版の大きさについて
 - ・民俗編の刊行計画について
- (2) 第 2 回（3 月 2 0 日）
 - ・令和 5 年度予算及び事業計画について
 - ・民俗編Ⅲの刊行年度について
 - ・調査員補助の設置について

2 専門部会の運営

- (1) 専門部会の体制 令和 3 年度に引き続き 9 部会を運営（鉄道部会は休止状態）
- (2) 専門部会連絡調整会議
 - ①第 1 回（5 月 1 5 日）
 - ・令和 3 年度事業報告について
 - ・さいたま市史編さん専門委員の更新について
 - ・各専門部会の活動状況について
 - ・市史の版の大きさについて
 - ・民俗編の刊行計画について
 - ②第 2 回（7 月 2 7 日）
 - ・通史編原始・古代Ⅱ（弥生・古墳時代）の監修について
 - ・民俗編Ⅲの対応について
 - ・調査員補助について
 - ③第 3 回
 - ・令和 5 年度予算及び事業計画について
 - ・民俗編Ⅲの刊行年度について
 - ・今後の監修予定について
 - ・市史・通史編における年表及び索引の作成について
 - ・アーカイブズ業務の予定について
 - ・調査員補助の設置について

3 「さいたま市史通史編（原始・古代Ⅰ）」の刊行

(1) 体裁等

B5版377頁、1,000冊作成、頒布価格2,000円

(2) 内容

人類の出アフリカから、日本、本市が所在する大宮台地までの進出過程を紹介した。
本市の旧石器・縄文時代について、出土した石器、石材、土器、遺跡等の特長や変遷を、
海進・海退の気候変動等を踏まえて考察し、当時の人々の生活や他地域との交流等を明らかにした。

4 「さいたま市アーカイブズセンター紀要第7号」の刊行

(1) 体裁等

B5版116頁、500冊作成、頒布価格1,000円

(2) 内容

寄稿（近世部会、元さいたま市職員、現代部会、原始・古代部会）

5 デジタルアーカイブズの構築

HP「アーカイブズセンターギャラリー」の写真資料の更新（13点）

6 歴史資料の収集、整理、保存、活用

- (1) 保存期間が満了した行政文書の収集、整理（95箱 ※現在整理中）
- (2) 旧村役場文書のデジタル化（94点、11,838コマ）
- (3) 地図資料のデジタル化（266点）
- (4) 写真資料デジタル化（ネガフィルム25,021点）
- (5) 映像資料のデジタル化（VHSテープ75本）

さいたま市史編さん専門委員の更新について

(敬称略)

専門部会	氏名	任期
原始・古代	アオキ ギ シュウ 青木 義脩	審議会に準ずる
原始・古代	カキヌマ ミキオ 柿沼 幹夫	R5.6.8 ~ R7.6.7
原始・古代	ミヤタキ コウジ 宮瀧 交二	R5.6.8 ~ R7.6.7
原始・古代	ミズムラ タカユキ 水村 孝行	R4.4.17 ~ R6.4.16
原始・古代	ササモリ キミコ 笹森 紀己子	R4.4.17 ~ R6.4.16
中世	アリモト シュウイチ 有元 修一	R5.6.8 ~ R7.6.7
中世	キクチ シンイチ 菊池 紳一	R3.8.7 ~ R5.8.6
近世	シゲタ マサオ 重田 正夫	審議会に準ずる
近世	イワタ 岩田 みゆき	R5.6.8 ~ R7.6.7
近世	ハシモト ナオコ 橋本 直子	R3.8.7 ~ R5.8.6
近代	オイカワ ヨシノブ 老川 慶喜	審議会に準ずる
近代	タカシマ シュウイチ 高嶋 修一	R5.6.8 ~ R7.6.7
近代	オカベ ケイシ 岡部 桂史	R5.6.8 ~ R7.6.7
近代	オオヤ ユミコ 大矢 由美子	R5.6.8 ~ R7.6.7
現代	クリタ ヒサヤ 栗田 尚弥	審議会に準ずる
現代	オオシマ ヒデオ 大島 英夫	R5.6.8 ~ R7.6.7
現代	オキカワ ノブオ 沖川 伸夫	R5.6.8 ~ R7.6.7
民俗	イツカ ミヨシ 飯塚 好	R5.6.8 ~ R7.6.7
民俗	オカモト カズオ 岡本 一雄	R5.6.8 ~ R7.6.7
民俗	イタガキ トキオ 板垣 時夫	R3.8.7 ~ R5.8.6
民俗	オオシマ スミコ 大島 純子	R3.8.7 ~ R5.8.6
自然(植物)	シミズ マコト 清水 誠	R5.6.8 ~ R7.6.7
自然(気象)	ウラカワ カズオ 裏川 一雄	R5.6.8 ~ R7.6.7
自然(地質)	タカハラ イサオ 高原 勇夫	R5.6.8 ~ R7.6.7
アーカイブズ	サトウ カツミ 佐藤 勝巳	R5.5.10 ~ R7.5.9

原始・古代部会

- 1 部会の構成（令和5年6月12日現在）
審議会委員1名、専門委員4名、調査員21名

2 刊行計画案

- 1冊目：「原始・古代Ⅰ（旧石器～縄文）」（令和4年度刊行済み）
- 2冊目：「原始・古代Ⅱ（弥生～古墳）」（令和6年度刊行予定）
- 3冊目：「原始・古代Ⅲ（奈良～平安）」（令和8年度刊行予定）

3 活動状況 ※令和4年度は1冊目の編集及び校正期間

R4.7.27（水）	監修（2冊目）	連絡調整会議にて2冊目の監修実施
R4.10.5（水）	原始・古代部会会議	1冊目の進捗状況の確認及び2冊目の監修結果について報告・検討
R5.3.19（日）	中世部会との合同部会	古代編（3冊目）と中世編の執筆内容分担の検討

4 今後の活動予定

- 2冊目「原始・古代Ⅱ（弥生～古墳）」の原稿執筆（令和7年3月刊行予定）
- 2冊目、3冊目の執筆に向けた調査

5 課題等

- 各分冊を通しての用語等の統一
- 原始・古代部会と中世部会の記述部分の調整

中世部会

1 部会の構成（令和5年6月12日現在）

専門委員2名、調査員7名

2 刊行計画案

- 1冊目：「中世Ⅰ」（令和9年度刊行予定）
2冊目：「中世Ⅱ」（令和12年度刊行予定）
- 時代で区切るなら「平安末期～南北朝」、「室町～戦国」で仮検討

3 活動状況

R5.3.19（日）	原始・古代部会との合同部会	古代編（3冊目）と中世編の執筆内容分担の検討
------------	---------------	------------------------

4 今後の活動予定

- 1冊目の目次案の検討
- 高野山西南院への調査
- 旧4市の市史で使用されている史料を確認
- 埼玉県立嵐山史跡の博物館の協力を得て、「埼玉県板石塔婆調査報告書」作成の際に提出した旧4市のカードの複写

5 課題等

- 全体構成について、適宜原始・古代部会及び近世部会との調整が必要
- 県が保有する調査資料の利用
- 金石文、城館跡等の執筆に関する検討
- 伝承の取扱い

近世部会

- 1 部会の構成（令和5年6月12日現在）
 審議会委員1名、専門委員2名、調査員6名、調査員補助3名

2 刊行計画案

- 1冊目：「近世Ⅰ（近世前期）」（令和10年度刊行予定）
- 2冊目：「近世Ⅱ（近世中期）」（令和13年度刊行予定）
- 3冊目：「近世Ⅲ（幕末期）」（令和15年度年刊行予定）
- 4冊目：「近世Ⅳ（絵図編）」（令和17年度年刊行予定）

3 活動状況

R4. 6. 12（日）	古文書調査	木内家文書、細淵家文書調査
R4. 8. 14（日）	古文書調査	細淵家文書、武笠家文書調査
	近世部会会議	1冊目の執筆分担の検討
R5. 1. 29（日）	古文書調査	大室家文書調査
	近世部会会議	1冊目の執筆内容についての検討及び 2冊目の執筆分担についての検討
R5. 3. 26（日）	古文書調査	大室家文書調査
	近世部会会議	2冊目及び3冊目の目次構成の検討

4 今後の活動予定

- 2冊目及び3冊目の目次案の検討
- 古文書調査（大室家、八木橋家文書など）

5 課題等

- 調査対象史料の把握（アーカイブズセンター所蔵や旧市時代に収集した史料）
- 限られた時間で膨大な史料の調査
- 中断している房総半島岩槻藩関係史料調査
- 人権問題の取扱い

近代部会

- 1 部会の構成（令和5年6月12日現在）
 審議会委員1名、専門委員3名、調査員3名

2 刊行計画案

- 1冊目：「近代Ⅰ」（令和14年度刊行予定）
- 2冊目：「近代Ⅱ」（令和18年度刊行予定）
- 3冊目：「特別編」（保留中）

3 活動状況

R4. 4. 3（日）	近代部会会議	片倉工業に関する調査研究報告ほか
R4. 6. 27（月）	近代部会会議	「痴予保苦蓮（ちょぼくれ）」に関する調査研究報告ほか
R4. 10. 3（月）	近代部会会議	片倉工業に関する調査研究報告ほか
R4. 12. 7（水）	近代部会会議	さいたま市・埼玉県政に関する調査研究報告ほか

4 今後の活動予定

- 令和5年9月中旬 近代部会会議開催予定
- 関係資料調査（片倉工業、蚕糸博物館など）
- コクーン新都心開発についての調査研究

5 課題等

- 市保管資料の保管場所が分散していること
- 市保管資料（行政文書や旧村役場文書等、学校関係資料）の把握・調査
- 市保管資料以外の資料の把握（民間企業が保有する資料等）
- これまでの調査研究の成果発表の方法

現代部会

1 部会の構成（令和5年6月12日現在）

審議会委員1名、専門委員2名、調査員2名、調査員補助3名

2 刊行計画案

- 1冊目：「現代Ⅰ」（令和16年度刊行予定）
- 2冊目：「現代Ⅱ」（令和19年度刊行予定）
- 3冊目：「特別編」（保留中）

3 活動状況

R4.4.29（金）	現代部会会議	市史における共通認識の確認及び各分担の確認ほか
R4.8.10（水）	現代部会会議	市史の構成及び章立てについての検討
R4.11.24（木）	現代部会会議	市史の構成及び章立てについての検討
R5.3.18（土）	現代部会会議	市史の構成及び章立てについての検討

4 今後の活動予定

- 項目立ての検討
- 旧4市の新聞目録不足分の作成
- 新聞記事からの調査項目・テーマの抽出
- 関係資料調査
- プランゲ文庫の資料調査・集成

5 課題等

- 行政分野における聞き取り調査対象者の選定
- 市保管資料の保管場所が分散していること
- 市保管資料以外の資料の把握（民間企業が保有する資料等）
- 刊行が先のため、中間目標の設定（紀要等で報告していく）

自然部会

1 部会の構成（令和5年6月12日現在）

専門委員 3名

※ 植物、地質、地形、気象のグループに分かれて活動

植物グループ 専門委員 1名

地質グループ 専門委員 1名

気象グループ 専門委員 1名

2 刊行計画

○ 「気象、地形、地質」、「植物」、「昆虫類」の3分冊。

○ 平成30年度に「気象、地形、地質」、令和元年度に「植物編」、令和2年度に「昆虫類」を刊行。

3 活動状況

—

4 今後の活動予定

—

5 課題等

○ 採集した資料（標本資料など）の管理、電子データの管理

民俗部会

1 部会の構成（令和5年6月12日現在）

専門委員4名、調査員4名

2 刊行計画案

- 1冊目：「民俗編Ⅰ～社寺の信仰～」(令和3年度刊行済み)
- 2冊目：「民俗編Ⅱ」(令和7年度刊行予定)
- 3冊目：「民俗編Ⅲ」(令和11年度刊行予定)

3 活動状況

R4. 6. 18 (土)	民俗部会	3冊目の刊行形態の検討ほか
R4. 11. 12 (土)	民俗部会	3冊目の刊行形態の検討ほか
R5. 1. 21 (土)	民俗部会	3冊目の刊行形態及び執筆内容についての検討
R5. 3. 6 (月)	民俗部会	3冊目の執筆内容及び執筆担当の検討

4 今後の活動計画

- 2冊目の執筆内容の整理
- 2冊目における各章の分量・頁数の確定
- コロナにより調査が行えなかった行事、団体への調査
- これまで行った調査の補充調査など

5 課題等

- 2冊目の「家の年中行事」に関する調査対象者の選定
- 3冊目の「人の一生」に関する調査対象者の選定

アーカイブズ部会

1 部会の構成（令和5年6月12日現在）

専門委員 1 名、調査員 2 名

2 活動状況

R4. 7. 13（水）	アーカイブズ部会会議	アーカイブズセンターの抱える課題 についての協議
R5. 1. 26（木）	アーカイブズ部会会議	アーカイブズセンターの抱える課題 についての協議

3 今後の活動計画

- 収蔵資料の散逸や滅失を防ぐための対策の実施
- アーカイブズセンター所蔵の各資・史料について、今後の閲覧等の体制の整備に向けた検討
- アーカイブズセンターと他の類縁機関との機能分担を踏まえた、今後の資・史資料の収集方針等の検討

4 課題等

- さいたま市史の編さんに用いた（調査で収集した）資料の保存・管理

次期（第 4 期）さいたま市史編さん事業計画の策定について

1 さいたま市史編さんにおける計画等の概要

(1) さいたま市史編さん基本方針

市史編さん事業（市史編さん業務＋アーカイブズ業務）の目的、基本姿勢などの方向性を明らかにするものです。平成 25 年 12 月に策定しました。

(2) さいたま市史編さん基本計画

基本方針に基づいた中期計画で、計画期間は 6 年間です。市史編さん事業の達成すべき目標、取り組むべき事項及び方法を明らかにするものです。

(3) さいたま市史編さん事業計画

基本計画に基づいた短期計画で、計画期間は 3 年間です。基本計画で掲げた目的達成のため、具体的な取組内容を明らかにするものです。

2 計画等の位置付け及び計画期間

基本方針	平成 25 年 12 月策定			
基本計画	第 1 期 平成 27 年度～令和 2 年度		第 2 期 令和 3 年度～令和 8 年度	
事業計画	第 1 期 平成 27 年度～ 平成 29 年度	第 2 期 平成 30 年度～ 令和 2 年度	第 3 期 令和 3 年度～ 令和 5 年度	第 4 期 令和 6 年度～ 令和 8 年度

3 第 4 期事業計画の策定スケジュール

時期	内容
令和 5 年 7 月	第 3 期事業計画の進捗状況等の報告
	第 4 期事業計画（案）の提示及び意見聴取
令和 6 年 3 月	第 4 期事業計画の策定

4 第 3 期における事業の進捗状況等の報告

別添 1 のとおり。

5 第 4 期事業計画（案）策定のポイント

別添 2 のとおり。

第3期事業計画の進捗状況等の報告

アーカイブズセンター（以降「事務局」という。）の現状と課題について、各専門部会の運営状況や、事務局の予算・人員体制等を検討した結果、第3期事業計画を達成するにはそれ以前の課題を少しずつでも整理する必要があることを認識しました。現在、必要な取組を始めたところです。

また、これらの課題は複雑に絡み合っており、これを解きほぐすには多くの時間を要します。そのため、課題の全体像の把握を進めながらも、眼前にある課題を一つひとつ整理（解決）し、一歩ずつでも前進することとします。

なお、事務局の所掌事務として、市史編さん業務とアーカイブズ業務の両輪を回すことが求められていますが、特にアーカイブズ業務の課題の多くは中長期的に取組む必要があることも想定しています。

【令和3年度】～課題の全体像の把握と対応策の検討～

5月	アーカイブズ部会を設置 ※専門委員1名、調査員2名
5月以降	アーカイブズ部会における部会の役割の検討及び現状と課題の共有
7月	「市史・自然編（昆虫類）」刊行の市報掲載及び区役所掲示板へのポスター掲示 ※以降、毎年度実施
	市史の監修者を設置 ※専門部会連絡調整会議を監修者とし、以降監修を実施
1月	アーカイブズ部会にて歴史資料保管場所及び戸田市を視察 <ul style="list-style-type: none"> ・保管状況の現状を確認 ・与野保管庫の解体へ向けた準備の検討 ・戸田市を視察
3月	「市史・民俗編Ⅰ」及び「紀要第6号」を刊行

【令和4年度】～課題の棚卸しと具体的な取組～

4月～8月	職員による課題の抽出と整理 <ul style="list-style-type: none"> ・課題を棚卸しし、これを分類。具体的な分類としては、歴史資料に関する目録の整理、歴史資料の権利関係、市史の校正・校閲体制など ・アーカイブズ業務に関する課題をアーカイブズ部会へ報告し、共有
7月	「市史・民俗編Ⅱ」の刊行を令和5年度から令和7年度へ変更
9月～3月	与野保管庫の行政資料目録と現物との突合 ※令和5年度以降も継続
	市史等の頒布先の拡大 ※市内公民館での配架
3月	「市史・民俗編Ⅲ」の刊行を令和7年度から令和11年度へ変更
	「市史・通史編（原始・古代Ⅰ）」及び「紀要第7号」を刊行

【令和5年度】～具体的な取組と進捗状況の管理（他の課題へ取組む余地を見極める）～

4月	専門部会における調査員補助の設置
	マイクロフィルムスキャナの設置 ※レファレンス等で利用
6月以降	諸家文書の権利関係の整理
	岩槻保管庫及び503保管庫の整理 ※目録と現物との突合
9月	諸家文書等の燻蒸
3月	「紀要第8号」を刊行

第4期事業計画（案）策定のポイント

1 策定の考え方

第4期事業計画（案）については、既にご承認いただいた第2期基本計画の計画期間中であるため、大幅な変更をしないこととします。

しかしながら、現状として第3期事業計画の目標の達成には、多くの課題が残されています。

このことから、現在の事務局の体制など、限られた経営資源で目標を達成するには、短期的な視点と中長期的な視点に基づいた業務の優先順位付けが不可欠であり、これにより着実に目標を達成していかなければなりません。そのため、事業計画の目標について精査し、3か年で実現すべき目標を明記しました。

優先順位としては、市史編さん事業をメインとし、市史編さん事業上必要なアーカイブズ事業を優先します。そのため、一律に歴史資料の収集・整理・保存・活用及びこれに付随する環境整備は、市史編さん事業が一定の段階に達した際にアーカイブズ事業に経営資源を集中することとします。

なお、次期基本計画においてもこの考え方を踏襲する予定です。

2 具体的な変更点

別紙5のとおり。

第~~3~~4期さいたま市史編さん事業計画

(案)

(令和~~3~~6年度～令和~~5~~8年度)

令和~~3~~6年3月

さいたま市

目 次

1	事業計画策定の目的と期間	P 9 9
2	事業目標	P 9 9
3	年度別事業概要	P 9 9
4	事業計画の進行管理	P 9 9

1 事業計画策定の目的と期間

さいたま市史編さん事業計画は、「さいたま市史編さん基本方針（平成25年12月策定、以下、「基本方針」という。）に基づき、中期計画として策定された「第2期さいたま市史編さん基本計画」（令和3年3月策定、以下、「第2期基本計画」という。）に掲げる達成すべき目標の実現に向けて、市史編さん事業の短期計画として事業目標を掲げ、具体的な取り組み内容を明らかにするものです。

第~~3~~4期の計画期間は、令和~~3~~6年度から令和~~5~~8年度までの3年間とし、以降における事業目標及び取り組み内容については、次期計画（第~~4~~3期基本計画及び第5期事業計画）~~事業計画~~の策定において明らかにしてまいります。

2 事業目標

第2期基本計画に基づき、本計画期間（令和~~3~~6年度から令和~~5~~8年度）に取り組むべき事項として、次の事業目標を掲げます。

基本計画 目標1 「さいたま市への関心と愛着」を育む市史編さん事業の推進

（1）市史等の刊行

さいたま市を一つの地域とした視点と学術的成果を踏まえ、地域の歴史や特性を明らかにし、市民の目線に立った分かりやすく読みやすい市史を刊行します。

- ~~別編~~民俗編~~1~~及び~~2~~通史編（原始・古代Ⅱ及びⅢ）の刊行
- ~~通史編（原始・古代）~~~~1~~別編 民俗編Ⅱの刊行
- アーカイブズセンター紀要の刊行
- 博物館等の関係機関との連携協力

（2）市史等の頒布の拡大

地域の歴史的発展過程を共有し、さいたま市民としてのアイデンティティを醸成するため、より多くの市民に手に取って読んでいただけるよう、市史等の頒布冊数を増やします。

- 市史等の頒布先の拡大
- 大学等研究機関への頒布

(~~2~~-3) 講演会等の開催

~~市史の研究成果を踏まえ~~さいたま市の歴史的発展過程及び歴史的特長等を明らかにすることで「さいたま市への関心と愛着」を醸成するとともに、市史刊行のPRをするため、講演会等を開催します。

- 講演会等の開催

(~~3~~-4) レファレンスの迅速化

市民等からの問い合わせについては、地域の歴史から歴史資料そのものへの問い合わせなど幅広い。こうした問い合わせについて調査・回答した結果を~~＝~~覧化検索できるようにすることで、より早く適切な対応を可能とします。

- ~~回答集の作成・＝~~覧化問い合わせ及び回答内容の検索性の向上
- 博物館等との連携協力

基本計画 目標2 歴史資料の次世代への継承と活用(公文書館機能の整備)

(1) 歴史資料(歴史行政文書を除く)の収集・整理・保存・活用

後世に貴重な歴史資料を継承するため、収集・整理・保存を行うとともに、市史刊行事業等に活用します。

- 歴史資料の収集・整理・保存の推進
- 必要に応じて民間団体、企業等が発行する記念誌、広報誌、雑誌等の歴史的価値ある刊行物を収集・整理・保存し、市史刊行事業や市民等への閲覧・公開のために活用

(2) 歴史行政文書の収集基準と整理・保存・活用方法の確立

保存期間が満了した行政文書(公文書)の中から歴史的・文化的価値を有するもの(以下、「歴史行政文書」という。)を収集・整理・保存していますが、市史刊行事業や市民等への閲覧・公開のため収集基準や整理・保存・活用方法を確立します。

- 歴史行政文書の収集基準の見直し、改定
- 収集された歴史行政文書の整理・保存・活用方法の確立

(3) 公文書館機能の整備に向けた歴史資料の整理・保存・活用方法の構築

歴史資料は諸家文書、歴史行政文書、行政資料(市等の刊行物)、新聞資料(新聞記事)、電磁的記録、マイクロフィルム、写真ネガ・紙焼き等様々な媒体とその発行主体や所有形態並びに史料自体の形態等が異なっています。その

ため、公文書館機能の整備に向けた市民等への閲覧・公開を前提として適切な整理・保存方法の構築を目指します。

- 諸家文書の活用に向けた整理・保存方法の構築
- 行政資料の整理・活用方法の構築
- マイクロフィルムのデジタル化の推進
- 写真資料の整理・保存方法の構築

(4) 歴史資料の整理・保存スペースの確保

歴史資料の史料的价值（稀少性）、材質、形態、分量などに応じた適切な保存方法について検討し、必要に応じて新たな保存設備の確保に努めてまいります。

- 既存の保存スペース内の整理（検索性の向上及び目録との突合等）
- 民間文書保管庫(施設)の活用
- 市有施設での適切な管理・保存方法についての検討

(5) 歴史資料のデジタル化

特に歴史的価値が高い歴史資料から優先的にデジタル化を進め、市史編さん事業や市民等への情報提供に活用します。

- デジタル化する歴史資料の選定と優先順位付け
- 旧市史刊行物のデジタル化の推進
- 市史通史編への活用

(6) 市民等への情報提供に向けた諸権利の整理と公開・閲覧体制の構築

公開・閲覧開始の準備段階として、体制の在り方を検討します。

- 公開・閲覧体制の検討
- 歴史資料に係る著作権、所有権、肖像権等の課題整理

基本計画 目標3 情報技術の活用による情報発信

(1) アーカイブズセンターギャラリーの充実

アーカイブズセンターが所有する写真等をデジタル化し、ホームページ上で引き続き公開するとともに、コンテンツを増やします。

- 写真等の所有権等の課題整理
- コンテンツの充実

(2) 歴史資料のデジタルアーカイブの構築

市民等に対して歴史資料を何時でもどこにいても簡単に閲覧できるようにデジタル化による情報提供のための整備を行います。

- ~~旧市史刊行物及び~~歴史資料の公開に向けての課題整理

(3) 情報技術の活用方法の構築

情報技術の進展は著しいため、市民等への最適な情報提供方法について検討してまいります。

- 情報技術による歴史資料の活用方法の検討

基本計画 目標4 推進体制の充実

(1) 専門部会の体制の充実

市史通史編の刊行が本格化する中で、専門部会の調査・分析・執筆にかかわる事業量が多くなっていることから、また、並行して歴史資料を次世代に継承することも求められています。そのため、必要に応じて専門委員・調査員等を補充し、組織体制の充実を図ります。

- 専門部会の人員体制の拡充

~~(2) 監修者の設置~~

~~市史通史編の刊行に向けて監修者を置き、市史全体の構成や編集の在り方、あるいは個別の巻の編集・校正を着実にを行います。~~

- ~~○監修者の設置~~

~~(3) (仮称) アーカイブズ部会の設置~~

~~市史刊行事業については、専門部会である原始・古代部会、中世部会、近世部会、近代部会、現代部会、民俗部会、自然部会がそれぞれ調査・分析・執筆活動を担っていますが、歴史資料の収集・整理・保存・活用と公文書館機能の整備等についてはこれまで専門部会がありませんでした。そこで、新たに(仮称)アーカイブズ部会を置き、これらの事業を推進してまいります。~~

- ~~○(仮称)アーカイブズ部会の設置~~
- ~~○歴史資料の公開・閲覧に向けた資料整理・保存等の在り方の検討~~
- ~~○行政文書の収集基準の見直し、改正~~

(4-2) 編集・校正体制の強化

市民等に分かりやすく親しみやすい市史となるよう編集・校正作業を正確に行うための体制を整備します。

○事務局内の校正体制の強化

○専門部会の編集・校閲体制の充実

3 年度別事業概要

令和 3-6 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・別編—民俗編1—(神社の信仰・寺の信仰・講)通史編 原始・古代Ⅱ (弥生・古墳) の刊行 ・アーカイブズセンター紀要第6-9号の刊行 ・歴史資料の収集・整理・保存・活用 ・歴史行政文書の収集基準と整理・保存・活用方法の確立 ・歴史資料のデジタル化の推進 ・監修者の設置 ・(仮称)アーカイブズ部会の設置
令和 4-7 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・通史編—原始・古代1—(旧石器・縄文)別編 民俗編Ⅱ (年中行事・祭り・民俗芸能等) の刊行 ・アーカイブズセンター紀要第7-10号の刊行 ・歴史資料の収集・整理・保存・活用 ・歴史行政文書の収集基準と整理・保存・活用方法の確立 ・歴史資料のデジタル化の推進
令和 5-8 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・別編—民俗編2—(年中行事・祭り・民俗芸能等)通史編 原始・古代Ⅲ (奈良・平安) の刊行 ・アーカイブズセンター紀要第8-11号の刊行 ・歴史資料の収集・整理・保存・活用 ・歴史行政文書の収集基準と整理・保存・活用方法の確立 ・歴史資料のデジタル化の推進

4 事業計画の進行管理

事業計画の策定にあたっては市史編さん審議会の承認を得るとともに、専門部会、連絡調整会議において達成目標の進捗状況を定期的に把握し、検証します。また、次期事業計画の策定に関しては、市史編さん状況や社会経済情勢の変化に対応した見直しを行うものとし、年次別刊行計画についても必要に応じた見直しを図り、市史編さん事業が円滑に推進できるよう進行管理を行います。